

Y. T. 英語英文学科・3年次

I. 留学レポート

① 協定留学を目指した理由

中学3年生の時に通っていた英会話スクールに新しく韓国語クラスが開講され、体験レッスンで初めて韓国語を学びました。ちょうど韓流ブームの頃で、私も毎日のように韓国ドラマを見て K-pop アイドルに夢中だったので、それから少しずつ韓国語の勉強を始めました。同志社女子大学への進学を決める際、ソウル女子大学との交流を知り、チャンスがあれば行ってみたいと思うようになりました。しかし入学後は少し気持ちが薄れてしまい、第2外国語も韓国語ではなくフランス語を選択していました。すっかり韓国語を忘れてしまいそうになっていた時、ふとソウル女子大学の交換留学生に一度会ってみたいと思い、国際交流センターへ連絡先を教えてもらいに行きました。何度か会う内に仲良くなり、彼女達の高い語学力や外国語習得への強い意欲に刺激を受け、韓国留学への気持ちが再び高まるようになりました。

② 留学を目指してから出願までの韓国語学習方法

キクタンを使って単語を覚えました。基礎が分かっていたので文法総復習の問題集を解きました。他にもいろいろな教材を使いましたが、1冊を何度も繰り返す方が効率よく勉強できると思います。リスニングに関しては、好きなドラマをなるべく日本語訳に頼らずに見るようにしていました。会話はNHKの韓国語講座を見ながら真似をして、話した事を書き取る練習をしました。

③ 留学決定から出発までの準備期間

出願までの勉強方法を続けていましたが、留学が決まった安心感とその準備を理由に気が緩んでいました。今考えると、もっと備えることが出来たのではないかと思います。ビザ申請は不安だったので大学側から紹介していただいた代行センターを利用しました。提出書類の準備期間も含めて3週間ほどで取得できました。実家を離れているので、家族にお願いしなくてはいけない書類があるとすぐに準備できず焦ったことがありました。余裕をもって準備できるように必要書類は早めに確認しておくの良いと思います。

結核の検査を日本で受けてくるように言われていたので、診断書をもらって持って行きましたが、結局現地でもう一度受けさせられました。日本で診断書をもらう必要があったのかよく分かりません。

1人1箱分の荷物を送る事ができたので、すぐに必要になりそうな物を先に送りました。荷物の受け取りが留学生の入寮期間の3日間程度に決められていて、韓国の旧正月と重なると配送が遅れることがあるそうなので、2月に入ったらいつでも送れるようにしておくと思心だと思ひます。

新生銀行で国際キャッシュカードをつくりました。大学内のATMで引き下ろしできたので便利でした。

④ 現地到着後

ソウル女子大学の国際協力チームの方が手配してくださった車で大学へ向かいました。時間は3時間くらいかかりました。自分で行く事も選べましたが、荷物が多く駅から大学も近くないのでお願いして良かったと思います。無料ではなく、後で3,000円程度の代金を大学に納めました。

翌日に結核検診や(職員さんが連れて行ってくれます)在留届けの提出等を済ませました。オリエンテーションは3日目にありました。学校案内やSWU buddyの食事会があり、韓国人学生と交流がもてるようになりました。Buddyのペアが未申請で、オリエンテーション時に直接会って決めている人もいました。

⑤ 語学研修期間

◆ 語学研修先の施設・環境について

私は語学堂を含め、ほとんどの授業を五十周年記念館で受講していました。五十周年記念館にはコンビニ・パン屋さん・スターバックスなどがあります。語学堂の授業は15人程度ずつ教室が分けられていて、先生との距離が近く学びやすい環境でした。ただ、生徒同士の距離も近いので騒がしくなる時もありました。基本的にどの教室もあまり冷暖房が効いていません。

◆ 授業内容、課題、試験

授業の前半は教科書に沿って進められ、小テストなどがあります。後半はペアワークなど日によって違う内容で楽しく、クラスの仲を深めるような活動が多かったです。全員で先生の好きな歌を覚えて歌ったのがとても印象に残っています。課題は毎日出ますが、そこまで多くはありません。難しいというよりは、時間がかかる内容でした(その日に習った文法を使って会話を作る、日記を書く等)。試験は中間・期末(筆記・リスニング)に加えて、ペアで会話文を作って発表する試験や、課題文の読み上げ試験、スピーチ試験がありました。

⑥ 正規科目履修期間

◆ 大学の施設・環境について

施設については語学堂と同じです。授業によって差がありますが、40人程度の学生と一緒に受講しました。発言を求められる授業が多く、積極性や授業への参加度がかなり評価に影響します。グループ課題も多かったです。日本語学科の生徒とグループを組ませてくれる等の配慮がありました。生徒も先生も留学生に対して親切で、授業に遅れをとっていないか毎回気にかけてくれました。

◆ 履修科目（決定までのプロセス、具体的に履修した科目名とその内容）

(1)Korean Conversation I

1学期に履修しました。語学堂で同じクラスのメンバーと一緒に受講したので、語学堂の授業の延長という感じでした。

(2)Topics in Asian Studies

1学期に履修した韓国語以外の唯一の科目で、英語で開講される授業です。アジア諸国の社会問題や文化面について自由にプレゼン・討論します。

(3)Practice in Intermediate Korean

3・4級程度の文法を学び、作文練習や昔話の読解をしました。2学期には語学堂を受講しなかったのですが、この授業で初級の復習もできました。

(4)Intermediate English Writing

英語でのレポート作成のときに必要な知識を学べました。授業中は韓国人同士も意識して英語で会話するようにしていて、コミュニケーションの面でも良い練習ができました。

(5)Introduction to Korean Clothing

韓国の服飾の歴史を英語で学びました。専門用語や歴史に関する単語が多く、難しかったですが実際に衣装を着せてもらえたりして面白かったです。

(6)Reading of English and American Short Stories

英文学科なので、とても興味のある授業でした。英語で開講されるクラスと韓国語でのクラスがあり、時間割の都合で韓国語の方を受講することになりました。短編小説を6作じっくり読解しました。

(7)Social Issues in Movies

社会問題を取りあげた映画を見て翌週にそれぞれが持ち寄った資料を元にクラスで討論しました。生徒の英語レベルが非常に高かったです。

◆ 授業、レポート、定期試験

(1)中間・期末試験と毎回の小テスト（単語試験）のみでした。市場に出掛けて行って買い物をする屋外授業が一度だけありました。

(2)中間・期末レポートとプレゼンテーションが課題としてありました。授業中のディスカッションへの参加も評価に大きく影響しました。

(3)中間・期末試験と小説を要約する課題がありました。短い文章を読み上げた音声を録音提出して発音をチェックされる課題もありました。

(4)1000字程度のレポートを4回提出しました。先生が細かくチェックしてコメントを返してくれるので学んだ事がとても身に付きました。

(5)中間・期末試験とレポートがありました。レポートは授業時間に民族博物館へ行き、興味を持ったアイテムについて研究するというものでした。

(6)中間・期末試験とプレゼン発表、毎週授業までにオンラインで提出する課題がありました。前半は講義、後半は主にグループディスカッションでした。

(7)期末試験と2回レポート提出がありました。授業中の発言内容や参加度が重視でした。

⑦ クラブ、課外活動、ボランティア活動

夏まで書道部に入っていました。中高と書道部で大学でも続けていたので、留学先でも学ぶ事が出来て良かったです。人数は多くありませんでしたが、その分温かい雰囲気先生も熱心に指導してくださいました。夜ご飯をみんなで出前して学校で食べるのが日本ではあまりない事なので毎回楽しかったです。

⑧ 現地での住まい（語学研修期間、正規科目履修期間）について

大学内の国際生活館で過ごしました。夏の間は隣のシャロムハウスに引っ越しました。どちらも2人部屋で日本人のルームメイトでした。寮では日本人の他に中国人やロシア人が生活していました。韓国人もいましたが、フロアが違ったのであまり関わりはありませんでした。寮生活は初めてでしたが、特にトラブルもなく過しやすかったです。ただ寮の先生はあまり親身ではなく事務的で、規則も厳しめでした。食事は食券を購入して食堂に通いました。

⑨ 長期休暇の過ごし方

夏の語学堂を受講していたので、長期休暇はありませんでした。6月に1週間程帰国しました。韓国内の旅行は、週末を利用して釜山と全州へ行きました。

⑩ 留学期間中の就職活動の取り組み

日本の友達に連絡して周りの状況を教えてもらっていました。就活に関するニュース等もインターネットでチェックするようにしていました。

II. 留学の感想

① 留学中で楽しかったこと、最も思い出に残っていること

自分の誕生日を寮で祝ってもらったことです。海外で誕生日を迎えるのは初めてだったので、とてもいい思い出になりました。11月だったので留学も終盤の時期になっており、そんな中で今まで一緒に過してきた友達からのサプライズに感動しました。現地での新しい出会いはもちろんですが、留学生同士の関係もとても深いものでずっと大切にしていきたいです。

② 留学中でつらかったこと、最も苦労したこと

留学生ということもあり、授業中に話を振られて意見を求められることが多く、最初はプレッシャーからストレスに感じていました。韓国人のほとんどの学生は積極的に授業に参加していて、黙っている生徒でも指名されると驚く程よく喋ります。圧倒されるばかりで、失敗や恥ずかしい思いもしましたが負けないように頑張りました。

③ 文化・習慣の違いなどで驚いたこと

良くも悪くも遠慮がないところには戸惑いましたが、慣れると変に遠慮しすぎる必要がなく、とても楽でした。日本では大学生になるとあまり学年を気にしませんが、韓国では年上か年下かというのが付き合い方に影響するなど感じました。同い年と分かるとう急激に距離が近くなったりもします。小さな違いはたくさんありましたが、それで嫌な思いをするというような事はほとんど無かったです。

Ⅲ. 留学希望者へのアドバイス

① 留学先大学の良かった点、悪かった点

SWU buddy 制度や日本語日本文学科の学生との勉強会など、現地の学生と交流出来る機会がたくさんあった点が良かったです。学生は派手でなく真面目な生徒が多い印象でした。大学全体の雰囲気も落ち着いていて、留学生に対して好意的でした。

長い時間を過ごす寮内が、もう少し温かい雰囲気だと良かったなと思います。ただ、春と冬では寮のルールにいくつか変化があったので（平日の点呼が無くなった等）職員さんも学生の意見を積極的に取り入れようと動いてくれていることは感じられました。

② 日本から持って行って、特に役に立ったもの

韓国語や英語の教材を何冊か持って行きました。現地の大きい書店では日本語書籍も置いてありますが、雑誌や漫画等が多く教材はあまりありませんでした。特に TOPIK の教材は解説が英語のものしかなく、受験する場合は日本から問題集を買って行くといいと思います。パソコンは持って行きました。寮にもパソコンルームがありますが、レポート等の課題が多いので自分の手元にあれば便利だと思います。

③ 語学力の向上等、留学の成果、留学前と後で変わったこと

韓国語も英語も自信が無くてもどんどん使っていくように心がけたことで、留学前はほとんどなく会話の中の単語が聞き取れる程度の韓国語レベルでしたが、ある程度の日常会話はできるようになりました。この留学では英語も伸ばしたいと思っていたので、自分の実力よりも高いレベルの授業も取りました。ついて行けないときもありましたが投げ出さずに取り組んで、帰国後に受けた TOEIC では100点ほどスコアが伸びました。人前で失敗するのが嫌で出来ない事や難しいことを避けがちでしたが、素直に失敗しながら取り組む勇気が持てるようになったと思います。

④ これから留学をしようと思っている後輩へのアドバイス

出来ない事を恐れずにたくさん失敗して頑張ってください！

IV. 将来の目標

① 今後の進路、将来の目標・夢

小さい頃からの憧れだった客室乗務員になる夢を諦めずに目指したいと思っています。しかし正直なところ、まだ就職活動に関して明確でない部分が多く最近悩みばかりです。自分が情熱をもって過せる環境で働けるように出来る事は全てやっていきたいです。

V. 写真



語学堂の期末試験終了後にクラスの友達とお菓子パーティーをしたときの写真です。

A. O. 社会システム学科・3年次

I. 留学レポート

① 協定留学を目指した理由

私が留学を考え始めたのは中学の時で、高校生の頃や大学1、2回生で短期留学も考えましたが、韓国への短期留学は2週間か3か月間という期間が一般的で、自分が目指している語学力に達するには期間が短すぎる上に、短期の韓国留学は語学堂のスケジュールの都合上、同女の学校のある期間とどうしても被ってしまうので行く機会もなかなかありませんでした。このままでは昔からの夢である韓国留学を達成できずに学生時代が終わってしまうと思い、そこで約10か月間の協定留学へ行くことを決意しました。

② 留学を目指してから出願までの英語学習方法

中学生の頃から趣味として自分のペースでゆっくりと勉強していました。同女からソウル女子大学への協定留学はハングル検定3級を取得していることが出願条件であるという情報を同女に入学する前から見ていました。なのでハングル検定3級を取得してからはこれといった勉強はせず、大学では第2外国語のハングルの授業で韓国語にふれる程度でした。

③ 留学決定から出発までの準備期間

留学が決定してからも韓国語の勉強は特にしていませんでした。たまに韓国ドラマやバラエティを見て意識して韓国語を聞き取るようにしていました。

ビザはD-2というビザを取得します。私は心斎橋にある韓国領事館へ直接申請しに行きました。事前に電話でビザ申請に必要なものを確認して行くといいと思います。韓国領事館へ行くのは、申請しに行く時と、出来たビザを取りに行く時の2回だけです。D-2ビザ自体は無料なのでビザ取得にかかったのは交通費のみでした。

③ 現地到着後

空港からソウル女子大学まではソウル女子大学が手配してくれたタクシー会社の方が飛行機の到着時間に合わせて空港まで迎えに来て下さりソウル女子大学の寮の前まで送ってくださいました。

寄宿舎に到着してから、その日は特にすることはなく荷物の整理をしたり、生活に必要なものを買いに行ったりしました。その日でなくても到着してから1週間以上は語学堂の授業もなく時間があるので、その間に必要なものを揃えるといいと思います。またこの間に語学堂のクラス分けテストがあります。

④ 語学研修期間

◆語学研修先の施設・環境について

語学堂の授業は国際教育館と50周年記念館という2つの建物にクラス別に分かれて行われます。私は国際教育館で授業を受けました。ここは寄宿舎から歩いて5分から10分ほど離

れたところにあります。学校内ですが少し他の建物とは離れた場所にあります。しかし特に不便は感じませんでした。

クラスは大体1クラスにつき10人から15人程の少人数です。私のクラスは9人が中国人で3人が日本人の計12人のクラスでした。中国人の割合が多いですがみんないい子達ばかりでクラスはとても楽しくいい環境でした。

◆授業内容、課題、試験

私は語学堂3級からのスタートでした。課題は毎日あり、それに加え週一の小テストがありました。また中間考査と期末考査があります。中間考査と期末考査は共に筆記、聞き取り、朗読、会話に分かれており、平均70点以上で合格です。難易度はそれほど高くないのできちんと授業を聞いていけば問題ないと思います。また習った文法を使って2、3人のグループになって会話文を作って発表するテストが何度かあります。基本的に日本人と中国人で組むので会話文を作るのに時間がかかったりと大変な部分は多かったです。

⑤ 正規科目履修期間

◆大学の施設・環境について

私が受講していた正規科目の授業は主にインサという建物でありました。そこにはコンビニやATMが設備されています。ソウル女子は学内にコンビニ4つ、食堂が4つ、またパン屋やアイス屋、スターバックスやトッポッキといった韓国料理が簡単に食べられるところもあり比較的設備がしっかりしているので、学校内に関して不便な点は全くありませんでした。

◆履修科目

・韓国文化遺産探査

同女で観光学を専攻していたのでそれに替わるような授業を履修しました。

この授業はほぼ毎回課外授業でキョンボクンやチャンドクンなど様々な所へ行きそこで教授の説明を聞きながら回るという形式でした。出席20%中間考査40%期末考査40%でした。毎回課外授業にも関わらず出席が20%しかないのが大変でしたがとても優しい先生で留学生は考慮してくださいませ。

・韓国の歴史

この授業は韓国文化についてより深く知りたかったので履修しました。

韓国文化遺産探査と同じ教授の授業だったので内容が被るところはあるのですが、課外授業はキョンボクンの一回だけでそれ以外は教室での講義形式の授業でした。

・心理学の理解

この授業はonline講義とoffline講義に分かれており、offlineの授業までにonlineで動画を見てクイズを受けることで出席となります。またonlineの授業がある分offlineの授業時間が短く、onlineの動画は何度でも見る事が出来るので韓国語が聞き取れないという問

題は少なく、その点が良かったです。またグループワークもたくさんあり楽しかったです。

⑥ クラブ、課外活動、ボランティア活動

私は留学してすぐに韓国人の友達作りのため、また語学力向上のためサークルに入りました。日本でダンスサークルに入っており、韓国でもダンスを続けたかったのでダンスサークルに入りました。このサークルは週4でサークル活動があり、出席必須でした。また毎日語学堂の課題もあったため、勉強とサークルの両立は本当に大変でしたが、サークルで出会った友達とは帰国した今でも頻繁に連絡を取り合ったり、日本に遊びに来てくれたりしています。いい出会いもあり、いい経験にもなったのでサークルに入って良かったです。

⑦ 現地での住まい（語学研修期間、正規科目履修期間）について

寄宿舎は春学期と秋学期には国際生活館というところに住みます。ここは全て2人部屋で、トイレ・シャワー室・洗濯機・調理室がすべて共同です。またジムの設備があります。食事は主に寄宿舎の隣にあるシャロムハウスというこの食堂を利用します。夏休みと冬休みはこのシャロムハウスに引越します。シャロムハウスは2人部屋か4人部屋を選択できます。設備は国際生活館と大体同じです。

⑧ 長期休暇の過ごし方

夏休みは1か月ほど日本に帰国していました。

⑨ 留学期間中の就職活動の取り組み

特になにもしていませんでした。

⑩ 留学中で楽しかったこと、最も思い出に残っていること

韓国の友達、日本の友達はもちろん中国の友達も、とても仲良くなり、かけがえのない友達がたくさん出来ました。その友達とご飯を食べに行ったりショッピングしたりする毎日が楽しかったです。仲良くなった韓国の友達の家にお泊りをしたり、帰国前にみんなでお泊まり会をして送別会をしてもらったこともとてもいい思い出です。

⑪ 留学中でつらかったこと、最も苦勞したこと

まず留学して1、2か月間は思うように語学力が伸びず、それが一番のストレスでした。しかしそこで焦ったり諦めたりせずにこつこつ勉強すればいつか結果が出ると信じ努力しました。

⑫ 文化・習慣の違いなどで驚いたこと

サークルでの上下関係があまりにも厳しいことに驚きました。私が所属していたサークルが特に厳しかったのかもしれませんが、中学の部活の時よりも先輩後輩の関係をしっかりとつけないといけませんでした。

Ⅲ. 留学希望者へのアドバイス

① 留学先大学の良かった点、悪かった点

日本人留学生が他の語学堂に比べて少ない点が良かったです。悪い点はやはり繁華街などから遠く、寄宿舎の門限もあるので外出するのが面倒になりがちでした。

② 日本から持って行って、特に役に立ったもの

パソコンは持って行きましたが寄宿舎にパソコンもたくさん置いてあります。

留学してすぐの頃は私も含め日本人留学生みんな日本食が食べたくなっていたので日本食を持っていくといいと思います。

③ 語学力の向上等、留学の成果、留学前と後で変わったこと

私の場合、最終的に語学堂は春学期だけしか受けていないのですが、帰国までに TOPIK5級を取得することができました。発音はもっと向上させたかったという後悔はあるのですが、やはり現地の人がよく使う文法表現であったり若者が使う言葉であったり、現地でしか学べないことをたくさん得ることができました。

④ これから留学をしようと思っている後輩へのアドバイス

行きたい気持ちはあるけど行こうか迷っている方がたくさんいると思います。私も正直最後の最後まで行くかどうか迷いました。少しでも行きたい気持ちがある方は是非行ってください。行って後悔は絶対にしないはずです。

IV. 将来の目標

① 今後の進路、将来の目標・夢

韓国語を生かした仕事に就くかは分かりませんが、これからも韓国語の勉強を続け更に語学力の向上をさせていきたいと思います。

V. 写真



サークルの仲いい友達と遊びに行った時の写真です。



ソウル女子大学の友達とお泊りをして送別会をしてくれた時の写真です。